

～令和3年度を振り返って～

災害対策基本法改正（R3.5）や愛媛県の取組をご紹介します。

【目次】

- 1 避難勧告と避難指示が一本化されました！
- 2 個別避難計画の作成が進められています！
- 3 LINE で分散避難の状況を把握する訓練を実施しました！
- 4 シェイクアウトえひめに33万7千人が参加！
- 5 えひめ自助・共助推進フェアシンポジウムを開催しました！
- 6 自主防災組織活動事例集を作成しました！
- 7 ポケット版みきゃんの防災グッズチェックリストが人気です！
- 8 地域を守る消防団員募集中！
- 9 県からのお願い・えひめ防災ニュースレターのお問い合わせ先



【1】避難勧告と避難指示が一本化されました！

災害対策基本法が改正され、令和3年5月20日から、これまでの警戒レベル4の「避難勧告」と「避難指示（緊急）」が、「避難指示」に一本化されました。

警戒レベル	新たな避難情報等	これまでの避難情報等
5	<p>災害発生 又は切迫</p> <p>さんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保※1</p>	<p>災害発生情報 (発生を確認したときに発令)</p>
<p>~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~</p>		
4	<p>災害の おそれ高い</p> <p>ひなんしじ 避難指示※2</p>	<p>・避難指示（緊急） ・避難勧告</p>
3	<p>災害の おそれあり</p> <p>こうれいしゃとうひなん 高齢者等避難※3</p>	<p>避難準備・ 高齢者等避難開始</p>
2	<p>気象状況悪化</p> <p>大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)</p>	<p>大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)</p>
1	<p>今後気象状況悪化のおそれ</p> <p>早期注意情報 (気象庁)</p>	<p>早期注意情報 (気象庁)</p>

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。

※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル5 緊急安全確保

これまでの「災害発生情報」は、取るべき行動が分かりにくく、また市町村が災害発生を確認できないことが多いため有効に機能していない、として名称が改められました。立退き避難がかえって危険な場合は、屋内で少しでも安全な場所へ移動するなどの行動を求める情報です。

警戒レベル4 避難指示

これまでの「避難勧告」と「避難指示」の違いが理解されておらず、避難指示が発令されるまで避難しない、などの問題から、「避難勧告」は廃止され「避難指示」に一本化されました。

警戒レベル3 高齢者等避難

これまでの「避難準備・高齢者等避難開始」では高齢者等が避難するタイミングである認識が薄れる恐れがあること等から、簡潔な表現にするため名称が改められました。

<<避難する準備を！>>

避難情報を受け取っても、避難行動を取らない人は依然として多くいます。いざという時すぐ避難できるよう、非常用持出品の準備、避難場所や避難ルートの確認など、日頃の備えが大切です。

【2】個別避難計画の作成が進められています！

令和3年5月の災害対策基本法改正で個別避難計画の作成が法律上明記されました。県と県内の市町では、平成30年7月の西日本豪雨災害の検証結果を踏まえ、災害時に自ら避難することが困難な**要支援者の個別避難計画**作成を推進しています。



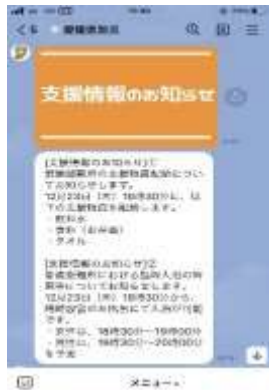
個別避難計画の作成には、**自主防災組織や防災士、自治会の方など防災関係者と、民生児童委員や介護支援専門員、相談支援専門員の方など福祉関係者のそれぞれが協働することが欠かせません。**個別避難計画の**作成方法は地域の実情に応じて様々な形**があります。皆さんも**それぞれの立場から取り組みに参画**しましょう。

【3】LINEで分散避難の状況を把握する訓練を実施しました！

県では、防災分野におけるデジタル活用を積極的に推進しています。

コロナ下での避難のあり方として注目される「分散避難」について、「避難状況が把握できない」「支援情報が届かない」などの課題に対して、多くの県民の皆さんが、日頃からご利用されているLINEを活用して解決しようという新たなチャレンジに取り組んでいます！

この「LINE×防災」の取り組みをより良いものにするため、西予市の地域の方々にご協力いただき避難訓練を実施しました。7月の炎天下の中多くの皆さんに参加いただきました【感謝・御礼】



たくさんの貴重なご意見を
いただきました

日頃から使っているLINE
で報告できて便利

登録の仕方が少し分かりにく
いから簡単にしてね

他にもこんなことに使えない
の？

《システム構築の完成》

皆さんからの貴重なご意見を踏まえて、システム構築に反映させ、令和3年12月に完成しました！

今後は防災訓練などを通じて利用効果を確認しながら市町への導入を促進したいと考えています。

皆さんに、この取り組みが届くこと期待するとともに、「防災対策に終わりなし」という考えのもと、更なる取り組みにもチャレンジしていきます！

【4】シェイクアウトえひめに33万7千人が参加！

大規模地震発生時の安全確保行動の確認や防災意識の向上を図るため、12月17日(金)11時から県下一斉に実施した県民総ぐるみ地震防災訓練「シェイクアウトえひめ」は、**337,576人(2,218団体)**もの方にご参加いただきました！ありがとうございました！

当日は、県でも、関係団体を含めて約1万人が参加し、各庁舎等において1分間程度、「まず低く、頭を守り、動かない」の安全確保行動をとるとともに、より実践的な訓練とするための**フラスワン訓練**として、防災メールを利用した職員の**安否確認操作訓練**を実施したほか、伊予鉄グループ本社と県との間で、巨大地震発生を想定しての**情報伝達訓練**を実施しました。

また、伊予市立南山崎小学校では、**防災みきゃんも参加しての防災教室を実施**し、地震から自分の命を守るための備えについて学習しました。



南山崎小学校でのシェイクアウト訓練

このほか、市町においても、全市町が訓練に参加し、HPや広報誌への掲載等を通じて住民に訓練実施を呼び掛けるなど、県と市町が連携し、文字通り「**県民総ぐるみ**」で訓練を実施しました。

【5】えひめ自助・共助推進フェアシンポジウムを開催しました！

えひめ防災週間(12月17日～23日)にあわせて、県下の自主防災組織関係者や防災士の皆様が、最新の防災知識や技術、先進事例の習得、共有を行うとともに、相互の連携を強化し、自助・共助の推進を図るため、「えひめ自助・共助推進フェアシンポジウム」を開催しました。

県内の自主防災組織関係者や防災士など約200人に参加いただきました！

日 時:令和3年12月21日(火)13:00～15:30

開催方法:県内各会場にオンライン配信

テ ー マ:「災害時の住民避難を考える」

同シンポジウムでは、令和元年度から3年間実施してきた「自主防災組織活性化支援事業」を活用した**自主防災組織の中から優れた取組を行った団体の方々を表彰**するとともに、**活動事例をご紹介**いただきました。

【受賞団体】

- ・高浜地区自主防災連合会（松山市）
- ・常盤地区防災会（今治市）
- ・田口地区自主防災組織（大洲市）

また、**愛媛大学防災情報研究センター羽鳥剛史准教授にご講演**いただくとともに、**パネルディスカッション**を行い**災害時の住民避難**について議論を深めました。

なお、**当日の動画を下記ホームページに掲載**しておりますので、是非ともご視聴ください！

【詳細はこちら】愛媛県ホームページ

<https://www.pref.ehime.jp/h15350/jijokyoujo/r3fair/symposium.html>



受賞者の皆さん



パネルディスカッションの様子



【6】自主防災組織活動事例集を作成しました！

愛媛県では、西日本豪雨災害の検証において、日頃の自主防災組織の活動の成果で住民が早めの避難を行い、被害を最小限に食い止めた事例が報告された一方で、自主防災組織の活動に濃淡があった等の課題も挙げられたことを受け、**令和元年度から令和3年度にかけての3年間、「自主防災組織活性化支援事業」を実施**しました。

今回作成した事例集は、**補助事業を活用した中から、各地の優れた取組19事例を掲載**しています。

自主防災活動のリーダーとなる皆様に、**ぜひ参考にしていただき、地域の防災力向上に向けた活動に取り組んでいただきたい**と考えています。



【7】ポケット版みきゃんの防災グッズチェックリストが人気です！

災害には日頃の備えが大切です。非常用持出品や家庭用備蓄、ペットの防災対策など、大切なのは分かっているけど、何をどう備えれば良いのか分からない方のために、**ご家庭で備えておくべき防災グッズをコンパクトにまとめた冊子**を作成しました。愛媛県イメージアップキャラクター「みきゃん」たちの分かりやすい解説も付いて、楽しい読み物にもなっています。

令和4年1月の配布開始以来、テレビや新聞等で紹介され大変ご好評をいただいております。すぐに在庫がなくなり、増刷してお配りしています。

ご家庭での備えが災害の被害を軽減します。是非ご活用ください。



冊子は**県庁**のほか、**各地方局**や**支局**、**各市町防災担当課等**で配布中！

詳しくはこちら(愛媛県ホームページ) →



【8】地域を守る消防団員募集中！

ふるさとを自分たちの手で守るといふ熱い気持ちを持った消防団の人たちがたくさんいるんです。

あなたも、人を守る、地域を守るそんな素敵な存在になってみませんか。

お笑いコンビ「和牛」も消防団入団促進サポーターとして応援中！



消防団に入ってほしいモウ



出展：総務省消防庁

消防団オフィシャルウェブサイト（総務省消防庁制作）

<https://www.fdma.go.jp/relocation/syobodan/data/policy/pr/>



【9】県からのお願い・えひめ防災ニュースレターのお問い合わせ先

県では、みなさんの地域での防災に関する取組みを紹介し、自主防災組織の活性化を図りたいと考えています。あなたの地域での防災の取組みなどについて、教えてください。

▼募集内容

- あなたの地域でのユニークな防災活動に関すること（人・防災訓練・自主防災組織など）
 - 自主防災組織の取組事例
 - こんな事で困っている、苦勞している点または質問 など
- ※掲載資料、写真データの提供もお願いします。

▼お問い合わせ、情報提供、本ニュースレターについてのご意見は、下記までお願いします。

愛媛県 県民環境部 防災局 防災危機管理課 南海トラフ対策グループ
TEL 089-912-2325 Mail bousaikikikanri@pref.ehime.lg.jp